

授業改善等に関する報告書（2025年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (後期) 教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職入門	新村 紀昭	教職を目指す第一歩として、教職の意義や果たすべき役割、今日的な教育課題等、幅広く教育について考えられるように授業を進め、レポートを出題しました。受講者の皆さんは課題やレポートにも積極的に取り組むとともに、自ら課題を設定してグループで取り組む探究活動を行い、充実した発表ができました。授業評価では、講義内容の説明や進度の部分で約10%の方から、やや分かりにくかったとの評価でした。今後は理解が深まる説明の方法を工夫していきたいと考えます。皆さんもこの授業で得たことを活かして教職への道を進んでほしいと願います。
教職入門	市毛 祐子	皆さんが、どのような教師を目指すのか、教職に就いたら何をしたいのか、その基礎を築くために、そして自分なりの軸をもって欲しいという願いを込めて、教育現場の事例、教育の最新の動向等を取り上げながら、教職に対するイメージが持てるように授業を進めてきました。また、協働性、同僚性を育むために、グループ研究の時間を設けたので、個人研究にはない多くの気づきが得られたことでしょうか。今後も、この授業で学んだことを生かして、教職への意欲を高めて欲しいと願っています。
教育相談	櫻井 成美	アンケートへのご回答ありがとうございました。後期は介護等体験などで忙しい方が多かったようですが、皆さん授業も課題も熱心に取り組んでくださっていました。特に授業内のグループディスカッション時は、事例への対応について皆で熱心に話し合ってください、実際に教員になった時に、仲間と連携しながら支援にあたることの大切さについて、体験的に学んでくださっていたように思います。今回のアンケートでは授業やご自身に対して概ね良い評価をつけてくださっている方が多かったと思います。来年度も分かりやすく取り組みやすい授業の工夫を更に心がけていきたいと思っています。ありがとうございました。
教育相談	柏崎 秀子	もともと少人数で回答もわずかだったので、よくはわかりませんが、授業で成長が実感できたようで、うれしい限りです。また、配布資料の工夫や聞き取りやすい点も高く評価してもらっていて、この方法を続けたいと思います。
教育相談	柏崎 秀子	説明の分かりやすさや資料の工夫など、授業方法のすべての項目で平均を上回る高評価でしたし、授業で成長が実感でき満足度が満点だったりと、手応えを強く感じることができました。自由記述でも、演習や発表によって具体的に深く学べた、教師として生徒とどのように関わったらよいかを詳しく知ることができた、など、学生自身から積極的に学び取る熱心な姿勢がうかがわれて、うれしい限りです。是非、この姿勢で次の最終学年で集大成してほしいと願っています。
教育相談	柏崎 秀子	ほぼすべての項目で平均を上回る高評価で、手応えを感じました。自由記述でも、様々な心理の知識を身につけ、発表によってしっかりと学べた、などと書かれていて、この方法を続けたいと思いました。なお、学生の発表へのコメントについては一部に認識の相違があったようですが、発表は事前に押さえるべきポイントを提示してありますので、それを確実に押さえてほしいと思っています。 また、学生自身から積極的に学び取る熱心な姿勢がうかがわれて、うれしい限りです。是非、この姿勢で次の最終学年で集大成してほしいと願っています。
教職実践演習 (中・高)	新村 紀昭	本講座は、これまでの教職課程の学修を振り返るとともに教育実習での諸体験を振り返り、自分に不足している力を意識し、自ら学びを深めていくために演習に取り組んだり、求められる教師像についてグループで協議し発表したりしました。 授業については、成長実感が高いという成果が出た一方で、やや意欲的に取り組めなかったという学生もいました。今後は、関心や意欲を高める資料の工夫や双方向的な活動をさらに取り入れて授業形態の工夫に努めていきたいと思っています。 卒業する皆さんは教職課程で得た様々な知識や考え方、実践力を実社会で十分発揮してほしいと願います。
教職実践演習 (中・高)	新村 紀昭	本講座は、これまでの教職課程の学修を振り返るとともに教育実習での諸体験を振り返り、自分に不足している力を意識し、自ら学びを深めていくために演習に取り組んだり、求められる教師像についてグループで協議し発表したりしました。 授業については、ほぼすべての項目で高い評価を得ましたが、双方向授業の工夫やmanabaを活用した個別指導・支援に物足りなさを感じた学生がいました。今後は、授業時の双方向的な活動や個別コレクションを活用した個別対応の機会を増やして、皆さんのニーズに応えられるように努めていきたいと思っています。 卒業する皆さんは教職課程で得た様々な知識や考え方、実践力を実社会で十分発揮してほしいと願います。

[2025（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職実践演習（中・高）	新村 紀昭	本講座は、これまでの教職課程の学修を振り返るとともに教育実習での諸体験を振り返り、自分に不足している力を意識し、自ら学びを深めていくために演習に取り組んだり、求められる教師像についてグループで協議し発表したりしました。 授業については板書やパワーポイント、資料の提示について若干分りにくさを感じた学生がいました。今後は、分りやすい板書の工夫や資料の作成・提示に努めていきたいと思ひます。 卒業する皆さんは教職課程で得た様々な知識や考え方、実践力を実社会で十分発揮してほしいと願ひます。
教職実践演習（中・高）	市毛 祐子	授業では、様々な事例や教育実習等の経験を通して、自己の課題を補充すべく、討論や発表に取り組んできました。教育実習を経験したからこそその学びが生かされ、意欲的に討論、発表している皆さんの姿を見ていると実に頼もしく思ひます。これまでの学びを糧にさらなる成長を楽しみにしています。これからの活躍を応援しています。
国語科教育法（2）	渡邊 重人	2025年度の「1. あなた自身について 2. あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間（レポート課題等含む）はどれくらいでしたか？」の結果1.29hでした。科目が異なるため、比較にならないかもしれませんが、2024年度の国語科教育法(1)の回答では1.55hでした。模擬授業の教材研究の大切さについては同様に扱っていますが、不十分であったと反省しています。この点について、教材研究にさらに時間を割いてもらえればと考えています。例えば、自分の担当ではない模擬授業回についても、十分な教材研究をし、授業構想を明確にしておくことを推奨します。「なるほど、この人はこのように工夫したのか。自分ならば、このように工夫しよう」、「この人のこうした声かけは参考になる。真似してみよう」といったところから始めてもよいでしょう。また、学習指導案の絶対的な書式は無いのですが、指示された書式について、不明な点があれば、遠慮なく、質問をしてください。
国語科教育法（3）	枝村 晶子	本授業では中学校国語科教育について理解し、学習指導案を作成し、実際に模擬授業を行うことで、中学校国語科教員に求められる資質・能力を身に付けることを目指しました。 ここでは模擬授業を行う1時間の授業だけでなく、単元として授業を考えていくことが大切であることを伝え、学習指導案を作成してもらいました。前期の履修者が多かったこともあり、授業後、学生同士のやり取りや教員のフィードバックの時間を十分に取ひ、自らの授業を振り返ってもらいました。また他の人の模擬授業を生徒の立場になって受け、感想や意見を述べたり書いたりしてもらいました。そのことは自分の学びにとって大きなプラスになったと思ひます。ワークシートやスライド作り、IGTを取り入れるなど、様々な工夫が見られました。 皆さんとても意欲的に取り組まれました。 分析結果を見ると、理解度・意欲共に良好で、本授業の目的は達していたと思ひます。 今後は、ここで学んだことをさらに生かして教育実習に臨み、実際の教員として生徒のために自らが学び続けていってください。私自身も学びを止めず、より良い授業が提供できるよう尽力していきます。
国語科教育法（4）	渡邊 重人	2025年度の「1. あなた自身について 2. あなたのこの授業における週あたりの予習復習時間（レポート課題等含む）はどれくらいでしたか？」の結果が、1.50hでした。2024年度は1.00hでしたので、経年変化としては改善されているのですが、2024年度の国語科教育法(1)の同質問に対する回答が1.55hであったので、十分とは言えない数値になってしまいました。次年度は、予習復習の質と量を充実することができるよう模擬授業と課題の精選を図る予定です。また、昨年度と重複しますが、予習復習の際には情報収集とその吟味に時間を割くことを推奨します。実習生に足りないのは経験値であり、それを補うのが情報収集とその吟味になるからです。各自治体の教育センター等で過去の実践例を収集し、それを踏まえて模擬授業の教材研究に取り組んでください。
英語科教育法（2）	中山 誠一	非常に高い評価をいただきありがとうございます。 毎回の課題に対するフィードバックが今回少し丁寧さに欠けていたと反省しております。次年度は改善していきたいと思ひます。
英語科教育法（4）	中山 誠一	アンケートありがとうございました。 授業内容についてまだ伝わりづらかった点があったかと思ひます。また、課題に対するフィードバックに対して丁寧さが少し欠けていたのではないかと反省しております。次年度は改善していきたいと思ひます。 みなさん ありがとうございました。
家庭科教育法（2）	市毛 祐子	実際に模擬授業を行うことで、入念な教材研究はもとより、板書や発問の工夫等、授業スキルを磨くことの大切さを実感したことと思ひます。これからも今回の反省点を踏まえ、貪欲に新しい知識や授業のスキルを身に付け、授業力のさらなる向上に努めましよう。私も、家庭科の魅力皆さんに発信できるように、授業の進め方や資料の工夫・改善をしていきます。

[2025（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家庭科教育法（3）	市毛 祐子	実際に模擬授業をしてみると自分の思いどおりに進まないことの方が多いということを実感したことでしょう。また、他の模擬授業から多くのヒントを得たことと思います。よりよい授業を創るために、常に謙虚に、学び続ける姿勢を忘れずに、ますます意欲的に取り組んでくれることを期待しています。
介護支援基礎論 火曜配信（日・洪）	柏崎 秀子	回答がゼロで、オンデマンド形式でしたので、なかなか学生の様子が見えないままだったのが、残念です。旧カリの再履修クラスでしたが、毎々の課題への取り組みやレポートなど、皆さんがよく頑張って受講していたと思います。オンデマンド型は各自のペースで学べることは利点ですが、同時に、自己管理も求められるため、大変かと思いますが、意欲的に学べたことに自信をもって、次の段階へと進んでほしいと思っています。
教職研究 d	新村 紀昭	本講座では、授業力の向上をテーマに授業改善について様々な角度から考えてきました。受講者は2名でしたが、切磋琢磨しながら演習テーマについて考え、意見を出し合うことや、学習指導案も苦労しながら完成し、模擬授業を行うことができました。授業評価は、少人数の影響か高評価を得ることができましたが、学習指導案作成に時間がかかるなど進行管理にやや課題があり、模擬授業の振り返りが十分できなかった点は反省点です。今後も配付資料や演習課題の工夫・改善等を行い充実させていきたいと考えます。
教職研究 d	市毛 祐子	家庭科教員に求められる資質能力を高めるために、各領域の内容をより深く理解できたことと思います。今後も、家庭科や教職の魅力が皆さんに伝わるよう資料の提示の仕方や授業の進め方について工夫・改善していきます。皆さんも、この授業で学んだことを生かして、教職に就くという夢を実現できるよう頑張ってください。応援しています。
教育方法・技術論（栄養）	柏崎 秀子	回答が非常に少なく、様子がよくわかりませんが、教育方法に関する評価も全体的な自己評価も平均値程度以下で、あまり良い状況ではなかったように思えます。教員を目指す者として、初めて授業を設計する機会でしたが、残念ながら、その重要性を十分に理解してもらえなかったようです。次年度からは、より具体的に各自の授業を計画して実施することになりますから、ここでの学びを次に生かしてもらえたらと思います。
教職実践演習（栄養）	白尾 美佳 三尾 真琴	今後もより良い授業になるよう皆様方のご意見をもとに考えていきたいと思っています。
児童・生徒栄養教育論（2）	白尾 美佳	良い授業になるよう皆様方のご意見をもとに考えていきたいと思っています。
特別支援教育論	柏崎 秀子	回答が非常に少なく、様子がよくわかりませんが、教育方法に関する評価も全体的な自己評価も平均値あたりで、学生さんにとって、ごく普通だったようです。この内容はこれからの学校教育で直面する生徒達の様子を理解することにつながりますから、次につなげてもらえたらと思います。
特別支援教育概論	早尾 美子	アンケートでのご意見・ご指摘ありがとうございます。本講義では、障害だけでなく、特別な支援、多様なニーズの子どもたちについての知識や支援をできるだけ教育現場の視点から学ぶ内容になるようにと心掛け講義いたしました。障害のある人との接し方や理解に対して理解が深まったなど評価がありました。しかし、「レポートや授業の評価方法を後で提示してきた」「配布資料の文字で色が多くどこが重要なのか分かりづらい」というご意見には、第1回講義でガイダンスとして、書面で明記し確認できるように、また資料は情報量を精選しわかりやすくするように改善します。科を分散しようと座席指定する時に不快に思われたことについては、待たせないように事前に提示するなど工夫するようにします。また子供の頃のエピソードを教員の時と誤解をまねいたことについては、今後の課題として話す内容が相応しいかしっかり吟味していきます。「わたしのトリセツ」の取り組みで自身について、困りごとがあることを改めて知った人も多かったと思います。多様なニーズは身近にもあることを知り、今後の教職の学びに活かしてください。
特別支援教育概論	早尾 美子	アンケートでのご意見・ご指摘ありがとうございます。本講義では、障害だけでなく、特別な支援、多様なニーズの子どもたちについての知識や支援をできるだけ教育現場の視点から学ぶ内容になるようにと心掛け講義いたしました。障害について理解を深めてもらえたこと、またアクティブラーニングの取り組みで発表のアドバイスが自分の成長につながったや実際の勤務経験の具体的な事例や経験談は学びが多かったなどの感想をいただき、実践へつながる授業ができたことと実感しました。今後の教職で役立ててほしいと思っています。その一方で「準備するものの連絡」「スライドの情報量」「意見や価値感」「具体的な助言」といった改善への指摘がありました。早めの提示や内容の精選、発言の仕方、具体化した指導など丁寧な取り組み、また私の対応についてもしっかりと受け止め、今後の改善に活かしていきたいと思っています。「わたしのトリセツ」の取り組みで自身について、困りごとがあることを改めて知った人も多かったと思います。多様なニーズは身近にもあることを知り、今後の教職の学びに活かしてください。

[2025（後期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特別支援教育概論	早尾 美子	<p>アンケートでのご意見・ご指摘ありがとうございます。</p> <p>本講義では、障害だけでなく、特別な支援、多様なニーズの子どもたちについての知識や支援をできるだけ教育現場の視点から学ぶ内容になるようにと心掛け講義いたしました。「高齢者や障がい者に対する考え方、支援や配慮の仕方を考え直すことができた」などの感想があり、またアクティブラーニングを取り入れ、グループワークのまとめ発表やポスター発表の積み重ねで、「人前で発表する能力や自分の感想や意見をまとめる能力を培うことができた」と学生の皆さんが自身の向上を実感していたことは本当に良かったと思っています。</p> <p>指摘された課題の提示期間については早めにするなど改善し、今後に活かしていきたいと思います。「わたしのトリセツ」の取り組みで自身について、困りごとがあることを改めて知った人も多かったと思います。多様なニーズは身近にもあることを知り、今後の教職の学びに活かしてください。</p>
特別支援教育概論	早尾 美子	<p>アンケートでのご意見・ご指摘ありがとうございます。本講義では、障害だけでなく、特別な支援、多様なニーズの子どもたちについての知識や支援をできるだけ教育現場の視点から学ぶ内容になるようにと心掛け講義いたしました。様々な個性があること、受け入れる姿勢、対応の仕方、コミュニケーションの大切さの理解が深まったこと、またアクティブラーニングの取り組みの中で、発表で自分の意見を上手く言語化する能力の向上など学生の皆さんの自身の成長を実感したことなど、今後の教職の学びに活かされることと思います。ご指摘いただいた私自身の意見の表現や対応の一貫性・安定など、細やかさ・丁寧さなどの課題、ご意見・要望について、今後の改善に活かしていきたいと思います。「わたしのトリセツ」の取り組みで自身について、困りごとがあることを改めて知った人も多かったと思います。多様なニーズは身近にもあることを知り、今後の教職の学びに活かしてください。</p>
特別支援教育論 火曜配信（日・洪）	柏崎 秀子	<p>回答がゼロで、オンデマンド形式でしたので、なかなか学生の様子が見えなかったのが、残念です。旧カリの再履修クラスでしたが、毎々の課題への取り組みやレポートなど、皆さんがよく頑張っていて受講していたと思います。オンデマンド型は各自のペースで学べることは利点ですが、同時に、自己管理も求められるため、大変かと思いますが、意欲的に学べたことに自信をもって、次の段階へと進んでほしいと思っています。</p>